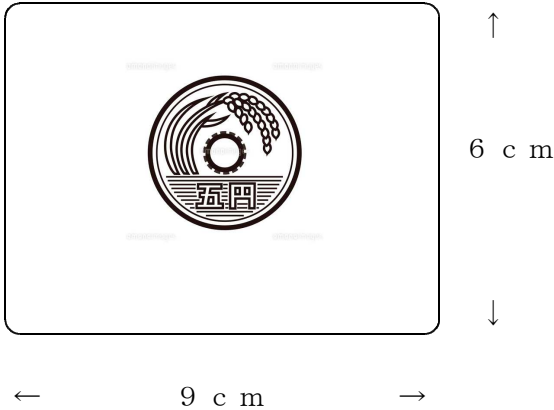
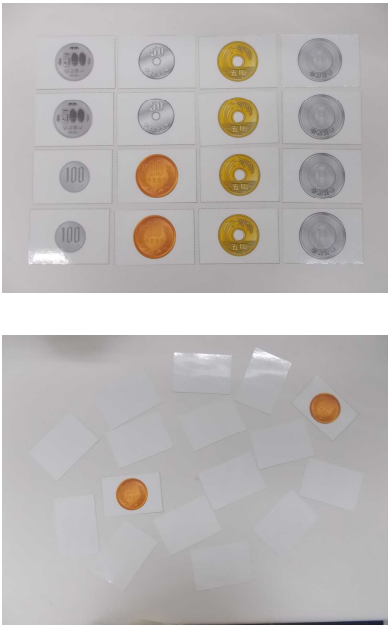


自作教具の活用事例

【作品名】 合わせていくら？	【学校名】 日立市立日高小学校
【活用できる領域・教科等】 生活単元学習・自立活動のウォーミングアップ等	【制作者名】 高藤 睦男
【制作の意図】 ・ 持続的に集中して取り組むことが難しい児童でも、ゲームをしながら、楽しく集中力を高めることができる。 ・ 異なった種類の小銭の合計金額を数える練習をすることができる。	【使用の方法】 ・ 2人以上で行う。 ・ トランプの「神経衰弱」のように、カードをめくって、ペアのカードを見つける。見つけたカードは自分のものとなり、合計金額が多い人が勝ち。 ・ ただし、合計金額を正しく言うことが必要などの条件をつける。
【制作上の工夫】 ・ 表から見て、裏が透けないように、厚めの紙を使う。 ・ ラミネート加工をし、汚れにくくて、少々乱暴に扱っても破損しにくいようにした。	【見取り図】  ※角は、面取りをしてけがをしないようにする。 ※同じカードを複数（2の倍数）枚ずつ作る。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ・ 小集団での授業で、ウォーミングアップ等に活用することができる。 ・ 同じカードが何枚もあるので、ペアが出やすく、楽しく取り組める。 ・ 全体の枚数を少なくすると、短時間で結果が出る。 ・ 発達段階に応じて、貨幣の種類を変えることにより、難易度を調整することができる。
【材料・材質・部品等】 ・ 上質紙（裏が透けない厚めのもの） ・ ラミネート加工	